

## LCV「諏訪圏情報BOX」第2回

- **放送日** 令和3年7月6日(火)、20日(火)
- **テーマ** 道路・河川アダプトシステム及び河川愛護活動について
- **出演者** 諏訪建設事務所維持管理課管理係 主事 小山 ななみ

○ 聞き手とのやりとり(概要)

(Q) アダプトシステムというのは、はじめて聞く言葉ですが、どのような仕組みのことをいうのでしょうか。

(A) はい、アダプトシステムとは、地域の皆さんが道路や河川などの美化活動をすることについて、県や市町村と、活動団体との間でお互いの役割分担を決めた協定をもとに、美化活動に取り組む仕組みのことをいいます。そもそもアダプトという言葉は、「養子縁組をする」という意味で、地域の皆さんが、みんなが使う公共空間を、まるで養子の面倒を見るように、愛情をもって手入れすることから命名されています。河川の美化活動については、名前の上では「アダプト活動」と「河川愛護活動」の2種類に分かれています。現在は「河川愛護活動支援事業」という同じ枠組みの中で支援しています。

(コメント) そうなのですね。「アダプト」という言葉は聞き馴染みがありませんでしたが、「養子縁組をする」という意味で、親しみやすさを感じました。地域の方と自治体とが手を結び、協力して道路や河川の環境を良くしていこう、という取り組みなのですね。

(Q) 活動場所はどのようなところなのでしょうか。

(A) 県で管理している道路や河川の中から、活動する団体の皆様自身で担当する区間を決めていただいています。ちなみに、諏訪湖アダプトプログラムについては、諏訪湖周を32区間に分け、それぞれの区間に3団体を目安に枠を設けています。

(Q) 諏訪湖全体で最大96団体登録することができるということなのですね。

(A) はい、おかげさまで現在、全ての区間に団体登録をしていただいている状況です。

(Q) アダプトプログラムにはどんな団体が参加しているのでしょうか。

(A) 地域の皆様のお勤め先や、住んでいる地区、小中学校、そのほか有志の皆様など、様々な団体が参加されています。

(Q)ここ最近、新型コロナウイルスが流行している状況で、様々な制約もあると思いますが、団体の皆さんは、どのくらい活動されているのでしょうか。

(A)道路アダプト団体は現在15団体あり、昨年度はのべ回数で年間111回、およそ3,000人の方が作業に参加してくださいました。河川で美化活動をする団体はアダプトと愛護団体を合計して154団体あります。昨年度は年間445回、およそ17,000人の方が作業に参加してくださいました。例年に比べると、昨年度は新型コロナウイルスの状況を踏まえ、活動を見合わせる団体もいらっしゃいましたが、それでも非常に多くの方に参加していただいている状況です。

(コメ)美化活動に取り組んでいる方は非常に多いですね。それほど、地域に愛着をもっている人が多いのかもしれない。

(Q)団体の皆さんは、どのような美化活動をされているのですか。

(A)ゴミ拾いや草刈りを中心に活動されていることが多いです。道路アダプトでは、沿道の花壇に花を植える活動、河川アダプトでは、外来植物のアレチウリの駆除を実施いただいているところもあります。

(コメ)なるほど。道路や河川ならではの美化活動があり、団体の方々は、それぞれで環境を良くしていらっしゃるのですね。

(Q)アダプトシステムという仕組みは、地域の方と自治体が協力して美化活動を進めるものだったと思いますが、県からの支援が受けられるということでしょうか。具体的にはどのような支援がありますか。

(A)道路アダプトシステムの場合、美化活動で使う物品を提供しています。例えば、道路沿いの花壇に植える花の苗や草刈機の燃料、ゴミ拾いで使うゴミ袋などです。河川アダプトシステムを含む、河川愛護活動支援事業では、活動回数や参加人数などの活動状況に応じて報償費をお支払いしていますので、その中で必要な物品を購入していただく仕組みです。

(Q)活動している最中に、うっかりケガをすることもあると思います。そういう場合に何かサポートはありますか。

(A)アダプト活動における作業中の事故に対する保険について、県において一括で加入しています。何かあった際には建設事務所にご連絡ください。

(Q)もしも、これからアダプトシステムに参加したい、というときは、どうしたらいいでしょうか。

(A)諏訪建設事務所では、現在新規団体のご参加を受け付けております。アダプトシステムにご興味をお持ちの方は、諏訪建設事務所の維持管理課にお問合せください。電話番号は0266-57-2935です。皆様の参加をお待ちしています。

(Q)団体に参加していない人で、アダプトシステムに興味がある人はどうしたらいいですか。

(A)アダプトシステムに参加している団体に入って参加するか、もしくは、お勤め先や住んでいる地区の仲間がおよそ10名以上集まり、年に3回程度、継続して活動していただけるようでしたら、アダプトシステムへの団体登録が可能です。

(Q)職場や地元の仲間と取り組むと、美化活動も楽しめそうですね。

(A)はい、アダプト活動に参加した方からは「作業は大変だが、やりがいを感じる」との感想をいただいています。皆様の参加をお待ちしています。